

令和6年1月5日

学生各位

理事・副学長(教育担当)

令和6年能登半島地震に関する被災地でのボランティア活動について

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、石川県能登地方をはじめ本県を含む広範囲な地域に大きな被害が発生しているところですが、被災地支援のための災害ボランティアについては、被災地の状況が日々刻々と変化しているため、慎重な判断、対応が求められるところです。

例えば、石川県のウェブサイトでは、現在のところ災害ボランティアの募集は行っていないこと、市役所・社会福祉協議会等への電話での問合せは控えてほしいこと、災害ボランティアに関する情報はウェブサイト上でお知らせすることとされています。また、富山県のウェブサイトでは、現在、被災ニーズとの調整のため、災害ボランティアセンターを開設した3市(小矢部市、高岡市、射水市)全てのボランティアの受入を停止していること、受入を再開したら、再度案内することとされています。

また、気象庁からの1月3日発表の第8報では、「過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、1月1日に発生したM7.6の地震により揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度7程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。また、この地域では、3年以上地震活動が続いており、当面、継続すると考えられますので、引き続き注意してください。なお、1月1日以降、地震活動の範囲は広がっており、従来より広範囲で強い揺れを観測しています。」とされています。

上記のような状況を踏まえれば、被災地でのボランティア受入体制が整い、かつ学生各自の安全が確保できる状況になるまでは、今しばらく時間を要すると思われるので、学生各位においては、現時点での被災地でのボランティア活動については、当面、控えられるようお願いいたします。

なお、冒頭にも述べましたが、被災地の状況は日々刻々と変わっておりますため、最新の状況を踏まえた対応方針等については、本学としても適宜お知らせすることとしています。